

第9回海陽町立海南病院改革検討委員会 会議次第

日 時：令和5年9月5日（火）

午後6時30分～

場 所：海陽町役場 海南庁舎3階大会議室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 議 題

・ 報告事項

(1) 第8回検討委員会の協議事項について

(2) 令和4年度海南病院事業会計決算状況等について

・ 協議事項

(1) 海南病院改革計画（令和4年度及び改革計画3年間）の検証について

(2) 新しい取り組みの効果と今後の方向性

(3) その他

4. 閉会

報告事項

(1) 第8回検討委員会の協議事項について

日 時：令和4年9月6日（火）午後6時30分～午後7時30分

議 題：

・報告事項

① 第7回検討委員会の協議事項について

・協議事項

① 海南病院改革計画（令和3年度）の検証について

② 新しい取り組み状況について

③ その他

第8回検討委員会における主な意見と対応状況

- ① 高齢者の対応が非常に大事だが、在宅医療に取り組んでいても町民に知って頂かなければ利用して頂けないし、知って頂くために海陽町の広報及び、海南病院独自のホームページにより情報発信はしていると思うが、まだ多くの町民が知っているとは思わないので、これからもっと周知できるように努めて欲しい。

対応

ホームページでの随時情報発信、患者個人等のケース会議及び介護事業所等のより密な連携により、多くの方へ知って頂けるよう努めている。

- ② レスパイト入院というのは聞き慣れていないので、こんなことができるのか、いいところを全面に押し出していったらいいのではないかと。伸ばせるところを伸ばして、無理なところに時間・労力を使わずに転換が大事だと思う。

対応

需要の多いレスパイト入院や訪問リハビリ等在宅医療の充実に努めている。

③ 在宅にいる家族さんや本人さんから相談があって、すぐに介護施設に入所できないときに海南病院でレスパイト入院させてもらってすごく助かった。そこがすごく海南病院が変わったことだと思う。コロナ禍で施設の人数制限がある中で海南病院に受け入れをしていただけてありがたい。

④ 医者が減っている中で、だいぶ目に見えてやってくれているという感想である。しかし現状の人員体制でこれ以上の改革は厳しいと思うし、訪問診療や、訪問リハビリの要望が多いので、海陽町の多くの町民が利用できるようなればいいと思う。

また、改革計画では実績は大事なことだが、町民の方に信頼して頂ける、喜んで頂ける病院であれば、町民の税金を投入してもいいと思うので、努力していってもらえたらと思う。

⑤ 検討委員会が始まった頃に比べて海南病院みんな頑張っているなと感じている。身体の不自由な人が来てもサッと車イスを持ってきて乗せてあげたり、コロナワクチン接種の時も、いろいろ声をかけてくれて、患者一人ひとりを大切にしていると感じている。

(2) 令和4年度 海南病院事業会計決算状況等について

○決算参考資料

	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 実績	対前年度比較
入院患者数(人)	7,037	5,887	6,297	6,945	7,381	6,947	△ 434
外来患者数(人)	18,511	16,548	18,381	16,692	15,491	14,766	△ 725
病床利用率(%)	42.8	35.8	38.2	42.3	44.9	42.3	△ 2.6
他会計繰入金(千円)	240,000	251,200	285,000	229,769	256,404 うち交付金等 18,208	237,758	△18,646 実質 △438

年度別損益計算書

海南病院
(単位：千円)

年度 勘定科目	平成30年度 決算額	令和元年度 決算額	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	増 減	比 較 %	備 考
1. 医業収益	243,082	260,538	286,964	307,321	314,495	7,174	2.3	
(1)入院収益	150,951	160,265	179,866	187,126	190,419	3,293	1.8	
(2)外来収益	74,570	81,401	85,893	86,424	92,305	5,881	6.8	コロナウイルス検査報酬増
(3)その他医業収益	17,561	18,872	21,205	33,771	31,771	△ 2,000	△ 5.9	コロナウイルス接種費の減
2. 医業費用	517,762	569,427	529,441	555,937	566,686	10,749	1.9	
(1)職員給与費	342,424	395,680	334,122	352,333	359,372	7,039	2.0	医師報酬、用務員3名増
(2)材料費	27,167	25,209	26,918	29,968	34,095	4,127	13.8	コロナウイルス検査試薬購入による増
(3)経費	94,135	94,799	103,424	112,027	114,192	2,165	1.9	電気代、浄化槽修繕費の増
(4)減価償却費	52,861	52,984	64,458	61,263	56,884	△ 4,379	△ 7.1	
(5)資産減耗費	419	26	34	16	1,031	1,015	6,343.8	除却資産増
(6)研究研修費	756	729	485	330	1,112	782	237.0	職員研修費増
3. 医業外収益	223,266	257,137	208,194	227,910	216,346	△ 11,564	△ 5.1	
(1)受取利息配当金	0	0	0	0	0	0	0.0	
(2)国県補助金	4,659	5,195	9,601	9,075	3,478	△ 5,597	△ 61.7	コロナ関連補助金の減
(3)一般会計繰入金	209,975	238,749	182,748	195,000	191,000	△ 4,000	△ 2.1	一般会計繰入金の減
(4)国保事業補助金	0	0	0			0	0.0	
(5)その他医業外収益	8,632	13,193	15,845	23,835	21,868	△ 1,967	△ 8.3	
4. 医業外費用	8,106	7,773	7,439	7,489	7,360	△ 129	△ 1.7	
(1)支払利息	5,806	5,379	4,989	4,594	4,196	△ 398	△ 8.7	
(2)その他の医業外費用	2,300	2,394	2,450	2,895	3,164	269	9.3	
5. 特別収益	1,496	0	3,775	874	0	△ 874	100.0	
(1)過年度分損益修正益	1,496	0	3,775	874	0	△ 874	100.0	
6. 特別損失	0	0	0	0	0	0	0.0	
(1)期間外費用	0	0	0	0	0	0	0.0	
(2)その他特別損失	0	0	0	0	0	0	0.0	
収益総額(1+3+5)	467,844	517,675	498,933	536,105	530,841	△ 5,264	△ 1.0	
費用総額(2+4+6)	525,868	577,200	536,880	563,426	574,046	10,620	1.9	
当期間純損益	△ 58,024	△ 59,525	△ 37,947	△ 27,321	△ 43,205	△ 15,884	58.1	
現金貯金	31,014	10,972	21,204	32,177	36,272			

協議事項

(1) 海南病院改革計画(令和4年度及び改革計画3年間)の検証について

① 海南病院収支計画実績(令和2年度から令和4年度 各年度)

収入									
(千円)									
年度	R2年度(目標)	R2年度(実績)	達成率(%)	R3年度(目標)	R3年度(実績)	達成率(%)	R4年度(目標)	R4年度(実績)	達成率(%)
改革年数	1年目			2年目			3年目		
入院収益	176,369(14・7床)	179,866(12・7床)	102.0	242,700(20・10床)	187,127(14・7床)	77.1	335,784(27・12床)	190,419(10・9床)	56.7
外来収益	81,422(16,882人)	82,050(16,692人)	100.8	86,400(18,000人)	78,670(15,491人)	91.1	95,040(19,800人)	83,523(14,766人)	87.9
訪問看護(医療)	8人 92	0人 0	0.0	60人 696	1人 7	1.0	84人 974	0人 0	0.0
訪問看護(介護)	—	—	—	60人 564	15人 138	24.5	84人 790	22人 108	13.7
巡回診療	24人 54	12人 27	50.0	120人 345	74人 601	174.2	144人 414	103人 386	93.2
訪問診療	50人 1,431	55人 1,557	108.8	120人 3,432	107人 3,202	93.3	144人 4,118	91人 1,704	41.4
訪問リハビリ	60人 2,340	60人 2,259	96.5	120人 4,680	122人 3,806	81.3	144人 5,616	187人 6,584	117.2
その他収益(繰入金除く)	32,700	32,822	100.4	33,200	53,187	160.2	33,700	44,069	130.8
収入 計	294,408	298,581	101.4	372,017	326,738	87.8	476,436	326,793	68.6
支出									
人件費	340,600	334,122	98.1	383,500	352,333	91.9	390,800	359,372	92.0
経費	123,500	131,956	106.8	136,640	143,690	105.2	149,780	150,657	100.6
支出 計	464,100	466,078	100.4	520,140	496,023	95.4	540,580	510,029	94.3
一般会計繰入額 ※資本的収支分は除く	169,692	177,759	104.8	148,123	190,256	128.4	64,144	186,804	291.2
うち交付税算入額	69,374	69,374	—	69,374	68,695	99.0	69,374	67,239	96.9
実質繰入額	100,318	108,385	108.0	78,749	121,561	154.4	△5,230	119,565	—

・収入より除くもの — 繰入金、長期前受金戻入、過年度損益修正益

・支出より除くもの — 減価償却費、支払利息、雑損失

②海南病院収支計画実績(令和2年度から令和4年度 3年間累計)

収入

	目 標	実 績	達成率(%)
入院収益	754,853(20・10床)	557,412(12・8床)	73.8
外来収益	262,862(54,682人)	244,243(46,949人)	92.9
訪問看護(医療)	152人 1,762	1人 7	0.4
訪問看護(介護)	144人 1,354	37人 246	18.2
巡回診療	288人 813	189人 1,014	124.7
訪問診療	314人 8,981	253人 6,463	72.0
訪問リハビリ	324人 12,636	369人 12,649	100.1
その他収益(繰入金除く)	99,600	130,078	130.6
収入 計	1,142,861	952,112	83.3

支出

人件費	1,114,900	1,045,827	93.8
経費	409,920	426,303	104.0
支出 計	1,524,820	1,472,130	96.5

一般会計繰入額 ※資本的収支分は除く	381,959	554,819	145.3
うち交付税算入額	208,122	205,308	98.6
実質繰入額	173,837	349,511	201.1

③令和4年度及び改革計画3年間の検証

取組項目	検 証	
	令和4年度	改革計画3年間
入院収益・延人数・利用病床数	レスパイト入院等により在宅からの入院が増えたが、常勤の内科医師が不在となったうえに、コロナ陽性入院患者が発生したため、入院の受入れを一時止めた期間があったため、目標を下回った。	地域連携室を設置し、他院からの転院及び介護事業所等との連携を密にし、またレスパイト入院・短期リハビリ入院等の新しい取り組みもしたが、目標を下回った。R5年度より週4日勤務の内科医師が在中のため、レスパイト入院及び転院等を積極的に行い入院患者を増やす。
外来収益・延人数	常勤内科医師が不在となったこと及びコロナ禍による受診控えにより患者数が減となったため目標を下回った。	コロナ禍による受診控えにより患者数及び内科の常勤医師が不在となり目標を下回ったが、他院等からの医師支援により、できる限り安心して受診して頂いた。今後も他院及び介護事業所等との連携により、患者数を増やす。
訪問看護（医療・介護）	医療については、対象患者がいなく、介護についても、対象患者が2人のため目標を大きく下回ったが、介護については増える見込である。	医療については、対象患者が少なく、介護についても、対象患者が2人のため目標を大きく下回ったが、海南病院も訪問看護があるという事を徐々に認識して頂いている。今後も介護支援専門員と、より連携し、対象患者を把握し増やす。
巡回診療	毎月第一火曜日に日浅医師により神野地区で巡回診療を実施し、目標を少し下回ったが、浸透している。	新たな取り組みとして日浅医師により神野地区での巡回診療を実施し患者さんに喜ばれており、目標も上回った。今後も近隣の地区の患者に呼びかけ増やす。また、調剤薬局も同行し、服薬指導等も実施していく。
訪問診療	常勤医師不在のため、在宅時医学総合管理料が請求できないため、報酬の減となり、目標を下回った。	令和4年度より内科常勤医師不在のため、加算がとれず報酬の減となり、目標を下回ったが、需要は多いので、対象者を把握して、増やす。
訪問リハビリ	需要が多く、患者数、報酬とも目標を上回った。	需要が多いが、訪問に出れるスタッフが1名のため、充分に対応できなかったが、目標を上回った。今後はリハビリスタッフを確保し、さらに患者数を増やす。
その他	毎月、院内会議により改革計画を検証し、各部署それぞれ課題把握をし、解決に向け実践した。 また、民間医療機関の休日及び対応できない時のコロナ検査及びワクチンの管理及び接種を実施した。	毎月、院内会議により改革計画を検証し、各部署それぞれ課題把握をし、解決に向け実践した。 新型コロナウイルス感染症に対応しコロナ検査及びワクチン接種及び、レスパイト入院や在宅医療、FreeWi-Fiの整備等の新たな取り組みも実施し、海南病院は町民に必要な病院でなければならないという強い思いで、職員それぞれができる事を、実践した。今後も、関係機関と連携を密にし、医師、看護師等の人員の確保に努める。

協議事項

(2) 新しい取り組みの効果と今後の方向性

新しい取り組みの効果

① 巡回診療

日浅医師により189人(延人数)受診、調剤薬局も同行し服薬指導等も実施している。

② 訪問診療

253人(延人数)の自宅へ内科医師が訪問。通院できない患者さん、家族に喜ばれている。

③ 訪問看護

37人(延人数)の自宅へ看護師が訪問。徐々に浸透している。

④ 訪問リハビリ

369人(延人数)の自宅へ作業療法士が訪問。希望される患者さんは多い。

⑤ 地域連携室の設置

入退院の調整(別紙参照)

入院時面談、カンファレンス、介護申請相談、介護調査立ち合い、家屋調査立ち合い、ケアマネージャーや相談支援専門員との連絡調整、医療福祉相談。

ケース会議毎月1回開催(支援困難事例に対する関係機関との会議)

⑥ レスパイト入院

29人(延人数)、医療行為が必要でなければ入院はできないが、家族等の負担軽減になり非常に喜ばれている。

⑦ 新型コロナウイルス感染症対応

連携型医療施設に指定され、コロナワクチンを保管する冷凍庫（ディープフリーザー）を設置し、海陽町のコロナワクチンを管理。

・ ワクチン接種

令和3年度 5,017人

令和4年度 2,189人

・ コロナウイルス検査数

令和3年度 337件

令和4年度 1,406件

⑧ FreeWi-Fi整備

入院、外来患者さんが、自身のスマホ等の通信料を気にせずに、使用できるため、喜んで頂いている。

⑨ ホームページ開設

随時海南病院の情報を発信している。
日浅医師の「健康雑話」を毎月掲載。

⑩ 待合ロビー環境整備

海陽町水墨画クラブの水墨画、美波町柏涛会創作クラブのアート作品、DVD視聴（時代劇）コーナーを設置し、待ち時間をゆったりと過ごして頂いている。

⑪ 薬品費

購入：購入時に、数量、単価等を精査しており、必要分のみ購入しているため、購入費用を抑えている。

廃棄の減少：H30年度は1,000千円だったが、徹底管理のもと、R4年度は190千円に減少。

ジェネリック薬品利用：置換率はH30年度は、35%だったが、（数量ベース） 利用促進を促し、R4年度は90%まで増。

⑫ 町内医療機関との連携

血液等検体検査及びCT検査

海南病院に依頼して頂ければ、即日結果が出ることを、宮本医師、看護師長、事務長とで、町内医療機関に案内に行き、連携を図っている。

⑬ 医師確保

- ・令和5年度より、宮本医師が週4日勤務。
- ・令和5年8月より、阿南医療センターから谷医師が週1日勤務。
- ・医師の通勤負担軽減のため、タクシー等による送迎の整備。
- ・サーフィン雑誌Blue. 離島医療情報ネットワークのWeb版に医師募集を掲載。
令和5年9月に阿南医療センターと連携して、サーフィン雑誌Blue. に医師募集を掲載予定。
- ・DMVのうたに合わせて、病院職員がダンスし、ユーチューブで医師募集を呼び掛けている。

⑭ 地方創生医師団シンポジウム

令和5年5月19日～21日に、第5回地方創生医師団シンポジウムを開催。全国から総合診療医や、医学生、住民も含めて173名が参加し、これからの地域医療や、海南病院に求められている医療等をディスカッションした。

このシンポジウムにより、他県の医師や医学生から海南病院への支援を頂ける予定である。

⑮ 海南病院祭り

令和5年11月18日（土）海南病院前日祭を予定

- ・徳島大学医学部、全国医療系学生団体「ちいここ」さんの学生（約50名）が地域（漁業）へ行き、住民と話をし、生活、風習を体験し、海陽町の医療・教育について考える。
- ・ディスカッション、魚の捌き方体験等

令和5年11月19日（日）に海南病院祭りを開催予定。

- キャッチフレーズ：地域まるごと笑顔にしたい！！海南病院祭り
- ・海南病院を受診したことがない住民に、病院や職員を知ってもらう

- ・ 職員の団結力、熱意を伝え、地域を、住民をまるごと笑顔にしたいを目的として、職員一同が様々な事を行い住民を迎える。また、徳島大学医学部、全国医療系学生団体「ちいここ」、他院等の総合診療医も参加予定。

地域連携室設置による入退院状況

入院状況(R3年度)

(人)

	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8	R3. 9	R3. 10	R3. 11	R3. 12	R4. 1	R4. 2	R4. 3	計
海部病院	14	6	9	6	3	5	8	9	10	4	11	12	97
阿南医療センター	1	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	8
徳島赤十字病院	0	2	2	1	1	2	0	0	5	1	2	3	19
徳島大学病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
病院(その他)	1	0	0	0	2	0	1	0	1	2	0	0	7
介護施設	2	2	2	0	0	1	3	2	3	0	0	2	17
救急	1	0	3	3	2	3	3	1	1	0	1	1	19
在宅	3	12	5	13	14	11	1	7	11	13	6	6	102
レスパイト	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
計	22	23	22	28	22	22	17	19	32	21	20	25	273

- ・主な病院(その他) 碩心館病院他
- ・主な介護施設 海南荘、ジャンボ緑風会他

退院状況(R3年度)

(人)

	R3. 4	R3. 5	R3. 6	R3. 7	R3. 8	R3. 9	R3. 10	R3. 11	R3. 12	R4. 1	R4. 2	R4. 3	計
海部病院	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	5
阿南医療センター	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
徳島赤十字病院	0	2	0	0	0	2	1	0	1	1	0	1	8
徳島大学病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院(その他)	1	4	2	1	3	1	0	2	3	0	1	1	19
介護施設	5	4	3	3	1	2	5	0	4	4	6	3	40
在宅	12	12	11	13	14	11	12	10	13	15	11	13	147
看取り	3	5	3	2	3	2	0	3	1	0	4	3	29
計	22	28	21	20	21	19	18	15	23	21	22	21	251

・主な病院(その他) 碩心館病院、原田病院他

・主な介護施設 海南荘、ジャンボ緑風会 他海部郡内介護施設

・看取り実績

年度	R元	R2	R3
看取人数	25人	30人	29人
平均入院 日数	18日	13日	22日

地域連携室設置による入退院状況

入院状況(R4年度)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
海部病院	3	5	9	5	8	7	9	11	13	11	13	12	106
阿南医療センター	1	0	1	0	1	1	0	0	4	1	1	0	10
徳島赤十字病院	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	9
徳島大学病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院(その他)	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
介護施設	2	0	2	0	1	2	0	0	0	2	1	1	11
救急	1	0	1	1	1	2	1	0	1	3	1	1	13
在宅	3	13	13	12	7	7	7	7	4	11	6	14	104
レスパイト	1	3	2	3	2	4	1	3	1	2	0	4	26
計	12	22	29	22	21	25	19	23	24	30	23	32	282

- ・主な病院(その他) 美波病院、高知日赤Hp
- ・主な介護施設 海南荘、ジャンボ緑風会他

退院状況(R4年度)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
海部病院	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	2	0	8
阿南医療センター	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
徳島赤十字病院	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	5
徳島大学病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病院(その他)	1	1	0	0	0	0	2	2	1	3	1	0	11
介護施設	5	3	2	2	2	9	4	2	4	3	5	9	50
在宅	10	11	13	16	11	10	8	15	15	17	18	20	164
看取り	3	1	2	3	2	1	0	1	1	1	2	1	18
計	21	16	18	24	16	21	15	22	23	24	29	30	259

- ・主な病院(その他) 原田病院、宮本病院他
- ・主な介護施設 海南荘、ジャンボ、ほかほか他海部郡内介護施設

・看取り実績

年度	R元	R2	R3	R4
看取人数	25人	30人	29人	18人
平均入院 日数	18日	13日	22日	20日

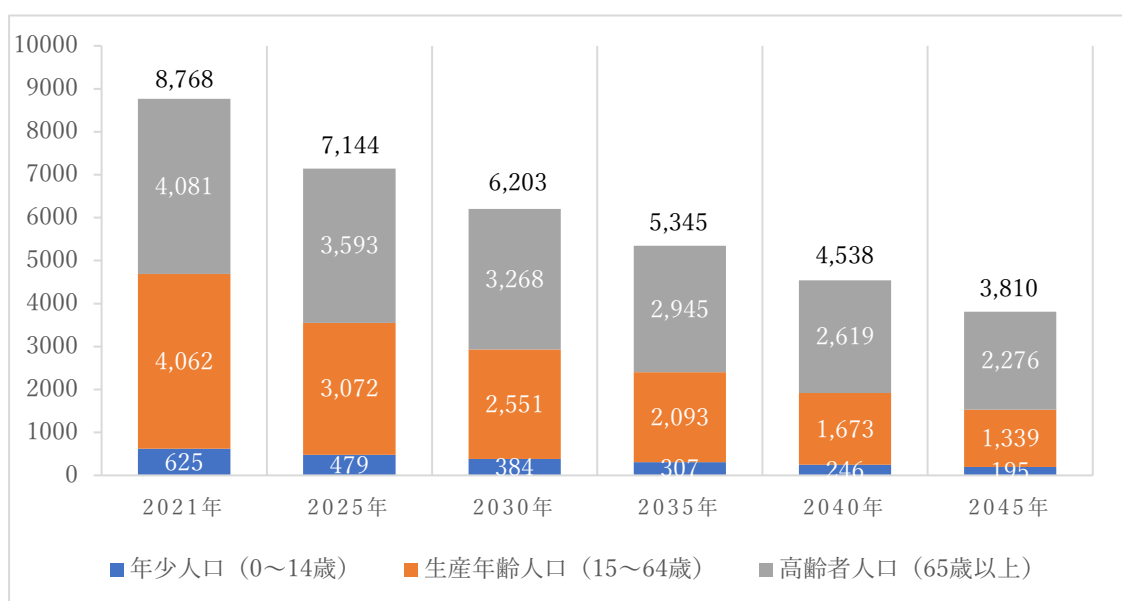
今後の方向性

① 海陽町人口将来推計

海陽町の人口は、令和3年12月（2021年）では8,768人であるが、平成30年に公表された国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、令和12年（2030年）には、6,203人、令和17年（2035年）には5,345人と推計されている。

また、海陽町における年齢構成は、令和3年12月（2021年）では、15歳未満の年少人口が625人（7.13%）、15歳から64歳の生産人口が、4,062人（46.33%）、65歳以上の高齢人口は4,081人（6.54%）であり国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、令和12年（2030年）、令和17年（2035年）には15歳未満の年少人口が384人（6.19%）、307人（5.74%）、15歳から64歳の生産人口が2,551人（41.13%）、2,093人（39.16%）、65歳以上の高齢人口は3,268人（52.68%）、2,945人（55.1%）と推計されており、年少人口・生産人口割合とも減少しているが、海南病院の患者の大多数を占める65歳以上の高齢人口割合は、増加している。

図1 海陽町 年齢階層別人口推計（単位：計）



出所：国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口」 ※2018年3月推計

② 見通し

- ・ 令和6年度から、他県の民間病院医師が非常勤医師として、支援に来て頂ける予定。
- ・ 総合診療医を専攻される医師(医師3年目～)の研修病院となるべく、令和5年度より特任指導医等の体制を整える。
- ・ 徳島大学や三重大学等の医学生との交流を継続し、将来、海南病院に医師として来て頂けるよう努める。
- ・ 特別養護老人ホーム海南荘と連携して、看取り患者及び長期入院患者を受け入れる。

③ 課題

- ・ 医師・看護師・コメディカル職員の確保
医師はじめ、職員の体制が整わなければ運営は厳しい。
- ・ 救急患者の受入れ
第5回地方創生医師団シンポジウムでのアンケート結果でも、住民が海南病院に求める医療で一番多かったのは救急医療であり、自分で来られる患者さんは、軽症の方が多く対応ができるため、ほとんど受け入れているが、救急車で搬送される患者さんについては、充分に対応できないため他院へ依頼する事が多いのが現状である。
- ・ 一般会計繰入金の減
病院があるということで、国から普通交付税、特別交付税を頂いているが、この改革計画3年間の繰入金以下になるよう努めなければならない。

④ 今後の方向性

益々進む高齢化に対応するには、医療、介護、福祉、どれが一つ欠けても、成り立たない。特に医療は要であり、町内に公立病院があるという事は、目に見える役割（医療サービス）と、目には見えない役割（雇用、経済、町に病院があるかどうかは住もうと考える条件の一つ）がある。この事より、海南病院は、海陽町地域包括ケアシステムの中心として、これからも、地域・住民のために、役割を果たしていかねばならない。

海陽町立海南病院改革検討委員会設置要綱

(設 置)

第1条 海陽町立海南病院（以下「海南病院」という。）が、県南部の地域医療の中核施設として存続するため、自主性や効率性が十分に発揮できる運営を目指す病院改革を検討するため、海陽町立海南病院改革検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会で検討する事項は、次に掲げるものとする。

- (1) 海南病院の改革に関すること
- (2) その他委員会で検討することが必要と認められる事項

(組 織)

第3条 委員会は、委員10名以内で組織する。

2 委員は、医療関係者、学識経験者、住民代表者及び行政関係者等のうちから、町長が委嘱する。

(任 期)

第4条 委員の任期は、2年とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長1名及び副委員長1名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。

3 委員長は会務を総理する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(委員の責務)

第7条 委員は、職務上知り得た情報を正当な理由なく漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(意見の聴取)

第8条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の意見を求めることができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、海南病院事務局において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和元年10月21日から施行する。

海陽町立海南病院改革検討委員会委員名簿

	氏名	ふりがな	所属・役職等	備考
1	折野 真哉	おりの しんや	海部郡医師会監事 折野胃腸科内科院長	委員長
2	若井 孝司	わかい たかし	海陽町民生児童委員協議会会長	副委員長
3	福井 千賀子	ふくい ちかこ	前地域医療を守る会 海陽町婦人会会長	
4	皆津 隆一	かいつ りゆういち	前海陽町公民館長	
5	長尾 正大	ながお まさひろ	子育て世代代表	
6	影治 照喜	かげじ てるよし	海部病院副院長	
7	森本 加奈子	もりもと かなこ	海陽町社会福祉協議会 ケアマネージャー課長	
8	白川 光雄	しらかわ みつお	栄喰診療所長	
9	日浅 芳一	ひあさ よしかず	海陽町地域医療シニアアドバイザー 海南病院内科医師	
10	横 考志	よこ たかし	海陽町副町長	R5年4月1日